

協働事業計画評価報告書

事業者名	地区名	対象品目	計画内容	到達目標	現状値 (%) :H30	目標値 (%) :R4	実績値(%)			達成率 (%)	検証方法	地方農政局等による評価
							R2	R3	R4			
拠点事業者 丸七製茶株式会社	静岡県 藤枝市	茶	【1 生産安定・効率化機能】 ①被覆栽培の高度化 ②抹茶適合品種への改植 【2 供給調整機能】 ①貯蔵施設の整備 ②区分管理用ラック施設の導入 【3 実需者ニーズ機能】 ①藤枝高級抹茶生産推進協議会の開催 ②微粉末機械の導入 ③Instant Premix商品の製造ラインの導入	輸出向け抹茶出荷額の割合 3.32ポイント増加	0.14%	3.46%	0.60%	2.34%	5.27%	154.6%	154.6% = (5.27% - 0.14%) ÷ (3.46% - 0.14%) 算出方法: 達成率 = (実績値 - 現状値) ÷ (目標値 - 現状値)	・輸出向け抹茶出荷額の割合を5.13ポイント増加させており、目標は達成している。 なお、協働事業計画において、拠点事業者が具備すべき三つの機能の全てについて強化を図ることとされているところ。取組状況は以下のとおり。 1 生産安定・効率化機能 ・被覆栽培の高度化や抹茶適合品種への改植はコロナ禍の影響により計画どおり進んでいないものの、R5以降も引き続き取組を実施することとしている。また、計画した取組に加え、施肥設計を見直し、有機物施用量を増加させて高品質化を目指している。 2 供給調整機能 ・貯蔵施設を整備したことにより、輸出時期の出荷調整が行われるほか、輸出対応を行う抹茶及び原料の碾茶については、熟成保存を行うことで風味の向上を図っている。 ・また、ラック施設を整備することにより、種類(碾茶、仕上げ碾茶、抹茶)、輸出先国、生産履歴毎に区分管理し、効率的な輸出が行える体制を整えている。 3 実需者ニーズ機能 ・藤枝高級抹茶生産推進協議会を開催し、実需者ニーズを生産者に直接伝える場を作り、ニーズを踏まえた収穫計画を策定している。 高品質化のために微粉末機械を導入し、様々な需要に答えるため、Instant Premix商品(あらかじめ配合した調整粉)の製造ラインの導入して、実需者のニーズに応える努力をしている。 ・また、輸出仕向け先の多様化のため、従来の輸出先国のみならず、輸出条件の調査等を通じてこれまで輸出をしていなかった国などにも輸出を模索している。
連携者1 株式会社 市之瀬の里	静岡県 藤枝市											
連携者2 朝比奈碾茶組合	静岡県 藤枝市岡部町											
連携者3 小園碾茶組合	静岡県 藤枝市岡部町											
連携者4 有限会社 青羽根茶業	静岡県 藤枝市岡部町											

※1年目(R2)は承認年で繰越のため報告なし(承認規程第4の2)

別添様式1

事業評価書

拠点事業者: 丸七製茶株式会社

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和2年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (整備事業)	101.7%	碾茶加工に必要施設・機械を整備・活用することにより、契約取引の増加に係る目標を達成した。 成果目標: 契約取引量指数(契約取引量指数とは、契約取引量を全出荷量で除した後に100を乗じた数。)を直近より21以上増加(目標:38以上) 現状 17(平成30年度) → 実績 38(令和4年度)
	104.0%	碾茶加工に必要施設・機械を整備・活用することにより、新たな新製品の開発等が図られ、仕向け先の多様化の増加に係る目標を達成した。 成果目標: 仕向け先多様化指数(仕向け先多様化指数とは、既存のリーフ茶製品以外の茶製品(ティーバック、抹茶、ドリンク等)への仕向量を全仕向量で除し、100を乗じた数。)を直近値より40以上増加(目標:53以上) 現状 13(平成30年度) → 実績 55(令和4年度)

※小数点第1位まで記載する